



×



「子どもの貧困」支援活動への応援助成

2025 年度 応募用紙 (記入例)

申請日：2025 年 10 月 21 日

1. 応募概要

団体名	(フリガナ) ヤマノボリデキルコドモシヨクドウ 山のぼりできる子ども食堂
団体住所	〒169-00〇〇 東京都新宿区百人町〇〇-△△-××
代表者名	(フリガナ) セイキョウ クラコ 生協 くら子
応募金額	50 万円 ※1万円未満を切り捨てた額をご記入ください。
活動地域	東京 都・道・府・県
活動区分	※該当の区分をチェック☑してください (複数可) ☑子ども食堂 ☑学習支援 ☐フード・パントリー ☑交流・居場所づくり ☑その他 ()
本助成の過去採択回数を教えてください。	☑0回 ☐1回 ☐2回

2. 団体・活動について

(1) 団体の設立背景、活動目的	① 設立背景 共働きが増え、子どもが一人でのいる時間が増えている。 一人ぼっちにしない、みんなと一緒に楽しく夕飯を食べる時間を大切にしたいという思いから。 新宿区では、自然遊びをする機会がなかなかないので、食と自然の体験 (山登り) を通じて、子どもの成長を支援したい。
------------------	---

	② 活動目的 以下の活動を通じた子どもたちの成長支援を目的とします。 週1回以上の勉強会+子ども食堂の実施(16:00~18:00) 年2回以上の登山を通じた自然体験学習会の実施			
(2) 団体の活動実績	※助成金・補助金や行政・生協・他団体との協働・委託事業等の実績もご記入ください。 ・新規立ち上げのため活動実績なし ・その他助成金なし ・資金調達の手段は、周辺企業の協賛金/個人会員による寄付/クラウドファンディング予定。			
(3) これまでの活動実施期間	※該当の区分をチェック☑してください ☒新規立ち上げ ☐1年未満 ☐1年以上3年未満 ☐3年以上5年未満 ☐5年以上10年未満 ☐10年以上			
(4) 団体設立日	2025年 10 月 1日			
(5) 共同活動者名	①	安藤 ラブ子	②	山田 こーすけ
(6) 活動における主な協力団体・協力者	①	くらしと生協(すくすく応援団&Baby)	②	NPO 法人〇〇〇
	③	〇〇〇大学(ボランティア福祉サークル)	※通常活動における主な連携機関(機関名・部署)を3つ以内でご記入ください。	
(7) 地域住民のボランティアの巻き込み状況	50	人	※応募時点での人数をご記入ください。	
	・学生ボランティア 10人 ・周辺企業の方 30人 ・子ども(参加者)の保護者 10人			

3. 実施計画について

(1) 助成応募事業名	山のぼりできる子ども食堂
(2) 申請にあたっての 背景・必要性	①背景 共働きが増え、子どもが一人での時間が増えている。 一人ぼっちにしない、みんなと一緒に楽しく夕飯を食べる時間を大切にしたいという思いから。 新宿区では、自然遊びをする機会がなかなかないので、食と自然の体験（山登り）を通じて、子どもの成長を支援したい。 ※新設団体の場合は2－（1）と同じ内容でも構いません。 ③ 必要性 食と自然を通じた子どもの居場所や機会を作り、子どもの豊かな心を育む必要があると考える。
(3) 申請する事業・活動の ありたい姿・目標	①ありたい姿 集まる子供たちが、同世代の子と一緒に食卓を囲み、自然に触れ合う経験を通じて親睦を深めることができる環境づくりを進めたい。 ②目標 週1回以上の勉強会+子ども食堂の実施（16：00～18:00） 年2回以上の登山を通じた自然体験学習会の実施
(4) 申請する事業・ 活動計画	① 実施内容 子ども食堂を中心とした居場所に日々の学習支援と自然体験学習の実施。 ・放課後学習サポート 週1回 平日火曜日 ・子ども食堂 週1回 平日火曜日 ・山のぼり野外学習 年2回 （宿泊1回 日帰り1回） ② 年度計画 年間48回の子ども食堂と学習支援の実施（毎週火曜日） 年間2回の自然体験学習（山のぼり・キャンプ等野外活動）の実施 ③ 体制 運営代表者 3名（〇〇・〇〇・〇〇）を中心に、他運営メンバー7名で持ち回り対応。

	※申請 2 年目 3 年目の団体は、新しく始める活動・発展した事業内容について詳しく記述するようにしてください。
--	---

4. 応募事業の資金内訳

費目	内容 (単価・数量等も記入)	予算額	助成金使用用途
施設使用料	〇〇公民館 (5000 円/1 回×年 48 回実施)	240,000 円	0 円
資材費	子ども食堂実施にかかる食材費 (300 円/1 人前×30 名分/1 回あたり×年 48 回実施)	432,000 円	0 円
備品費	文具・教材費用など	25,000 円	0 円
謝礼	ボランティアの謝礼等 (500 円/1 人×3 名×年 48 回実施)	72,000 円	0 円
旅費交通費	年 2 回の登山体験にかかる費用 (10,000 円×参加者 30 名×2 回)	600,000 円	500,000 円
費用合計		1,369,000 円 (※事業の予算総額をお書きください)	500,000 円 (※助成金の応募金額をお書きください)

5. その他

(1) 減額での助成となった場合の実施予定 (実現性)	資金規模に合わせて、年に 2 回を計画している野外活動内容の変更 (活動規模の縮小) を検討します。 ・教材費の減額 (新品教材購入→中古品教材または寄付された教材) ・野外自然学習の企画の予算縮小 (キャンプ等の宿泊→日帰り近郊の山へ)
(2) 減額時の実施予定の理由・詳細を教えてください。	子ども食堂は日常の子どもの生活において必須と考えるため、野外活動の内容変更のほうで規模縮小を検討します。
(3) 他団体の助成について	※該当の区分をチェック☑してください ☐ 申請していない ☒ 申請している (検討中・申請中・決定済) ※申請していると回答された場合は (4) に他助成の申請金額をご記入ください
(4) 他団体の助成申請状況 (検討中・申請中・決定済み) と申請予定金額	・申請中 30 万円を申請予定

6. 子どもの未来アクションの取り組みについて

(1) 子ども未来アンバサダー登録について	※該当の区分をチェック☑してください ☒ 元々登録していた ☐ 今回の助成をきっかけに登録した
(2) 子どもの未来アンバサダーとしての今後の活動の抱負・意気込み	・3 年前に子どもの未来アンバサダーに登録。年 2 回以上は事務局主催のイベントに参加。子どもの未来アクションの学習テキストを使用して、運営メンバーと学びの場を 2025 年 10 月に 1 回実施。 ・今後、ボランティアの学生向けに子どもの未来アクションの学習テキストを使用した学びの場を開催し、学生と意見交換予定。

7. 情報発信メディアについて

※団体・法人として発信しているメディアをお書きください。

SNS	URL またはユーザー名 (アカウント名)	使用頻度 (※複数の SNS をお持ちの場合、 更新頻度を教え てください。)
(1) ホーム ページ	https://miraiaction.org	
(2) Facebook		
(3) X (旧 Twitter)		
(4) Instagram	https://instagram.com/kurasei.official?igshid=NjIwNzIyMDk2Mg==	
(5) LINE		
(6) YouTube URL		
(7) その他 (自由記述)		

2025年 「子どもの貧困」支援活動への応援助成 申し込み団体担当者連絡先

記入日 2025 年 10 月 21 日

団体名	山のぼりできる子ども食堂			
団体代表者	役職名	代表		
	(フリガナ)	セイキョウ クラコ		
	氏 名	生協 くら子		
応募担当者 ※代表者以外の担当者がある場合、ご記入ください。	役職名	理事		
	(フリガナ)	アンドウ ラブコ		
	氏 名	安藤 ラブ子		
団体住所 ※個人宅の場合、様方もご記入ください。	〒 169-0000 東京都新宿区百人町00-△△-×× (団体専用・個人宅 様方)			
連絡先 ※日中連絡可能な先をご記入ください。		氏名 (役職)	電話番号 (携帯電話)	メールアドレス
	第1希望先	安藤 ラブ子 ()	050-3205-00 (- -)	00 @jccu.coop
	第2希望先	山田 こーすけ ()	050-3205-△△ (- -)	△△ @jccu.coop

留意事項 (※電話が取りにくい時間帯等、連絡に関して特記事項があればご記入ください。)

--

- ・本助成の応募に関しまして、不明箇所がある場合お電話またはメールをさせていただきます。
- ・本助成の採択結果につきまして、メールにてご連絡致します。メールアドレスを正しくご入力ください。
- ・本助成採択団体へ助成金贈呈式・交流会のご案内を別途させていただきます。